

「藤沢の遊行寺(1)」

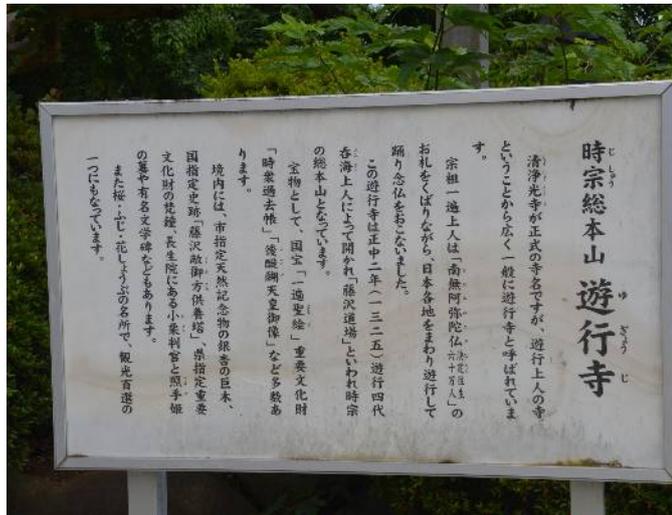
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

神奈川県藤沢市の郊外に「遊行寺」というお寺さんがあります。「ゆうぎょうじ」ではなく「ゆぎょうじ」と読むのが正しいです。先日、藤沢市への出張の帰りにちょっと寄ってみました。



国道1号線からの入口は狭い横道なのですが、山内は非常に広く、金堂(御本堂)も大変立派なのに驚きました。ただ、平日の午後だったので、参拝客もまばらでした。



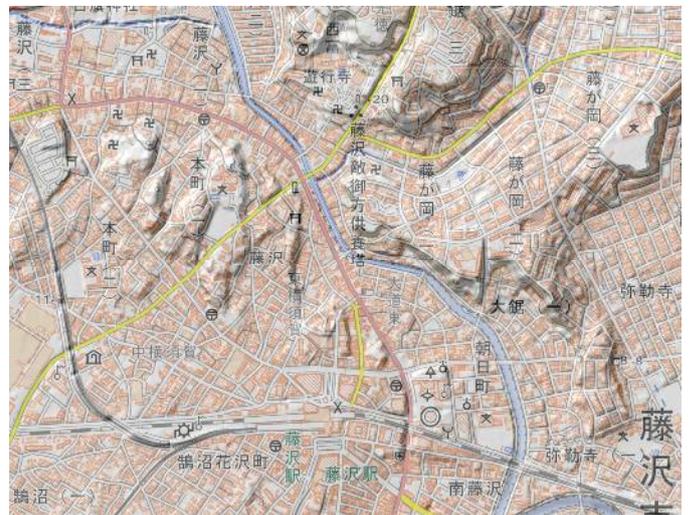
遊行寺は「時宗」の総本山という格式の高い寺です。正式名称は「清浄光寺(しょうじょうこうじ)」といいます。時宗(じしゅう)というのは、浄土宗の一宗派で、開祖は「一遍上人(いっぺんしょうにん)」とされています。

遊行寺は二つのことで有名です。一つは山本周五郎の作品に登場することです。「遊行寺の浅(ゆぎょう

じのあさ)」という短編で、この寺の住職の一人か、実は国定忠治の子分「いたわりの浅」で、夜盗から寺宝を守る・・・という奇抜なストーリーです。「守る」というよりも、その寺宝(金の香炉)が金メッキの偽物であることが世間に知れることを防いだ・・・というのが正しいでしょう。山本周五郎は、主として江戸時代の下級武士の生きざまを描いた作品が多く、私の好きな作家の一人です。



もう一つは寺そのものよりも、すぐそばの「遊行寺坂(ゆぎょうじざか)」のほうが有名なことです。この坂は国道1号線(旧東海道)の坂で、箱根駅伝の復路8区で、選手を泣かせる急坂として有名です。



(国土地理院地形図)

地形図で見ると、藤沢駅(図の下方中央)から藤沢橋(赤い道路と黄色い道路の交点)までは平坦ですが、そこから起伏が激しくなっていることがわかります。藤沢橋の標高は約9m、遊行寺坂を登り切ったところが標高53mなので、箱根駅伝の8区選手は、標高差44mを一気に駆け上がることになります。これは確かに「選手泣かせの遊行寺坂」と言えますね。(つづく)